

第3回市民ワークショップ アンケート結果

1. ワークショップ概要

① 目的

市の役割、新庁舎の役割・コンセプトを踏まえ、新庁舎に必要な機能を検討する。その上で、候補地案について検討する。

② 対象

中学生以上の市内在住者・在勤者による応募者 57名

③ 実施日時

① 2023年12月2日(土)15:30~18:30

② 2023年12月3日(日)14:00~17:00

③ 2023年12月7日(木)18:00~21:00

④ 実施場所

生涯学習センター201

⑤ アンケート回収状況

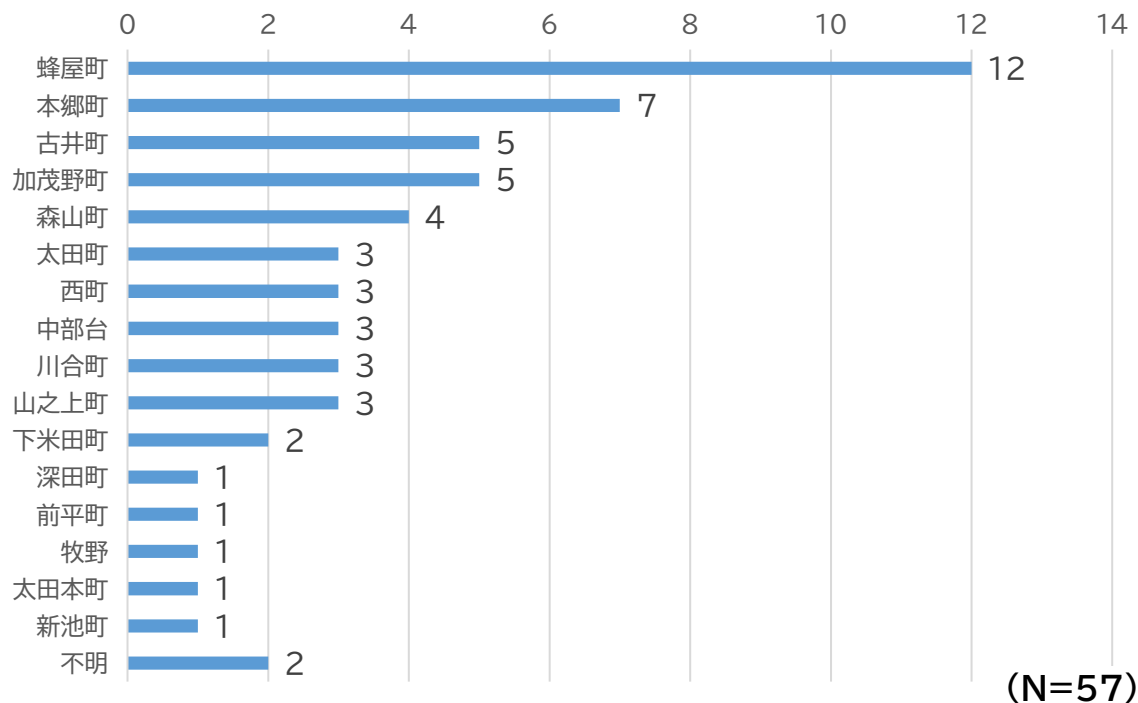
45件 回収(紙:30件、Google フォーム:15件(12月15日〆))

2. ワークショップ参加者の属性

(1) 住所

蜂屋町が最も多く、本郷町、古井町、加茂野町が続いた。

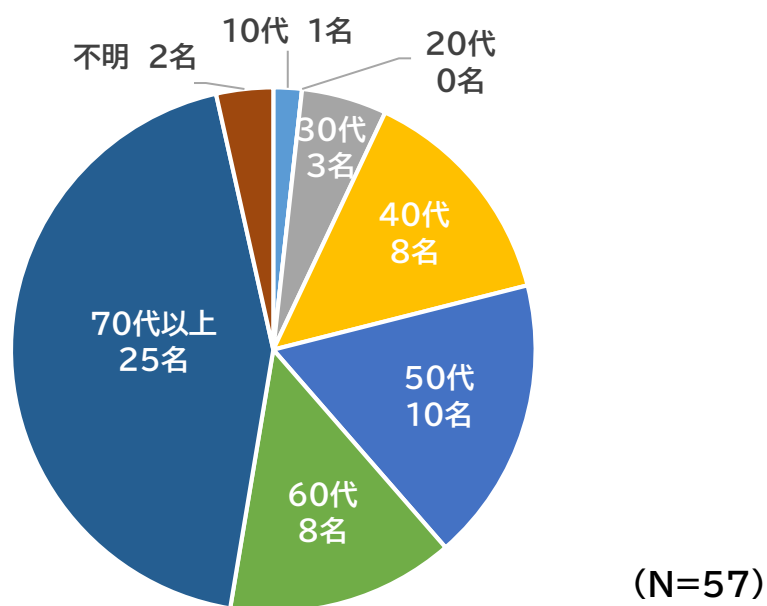
図表 1 参加者の住所



(2) 年代

70代以上が最も多く25名、次いで50代が10名、40代と60代が8名と続いた。

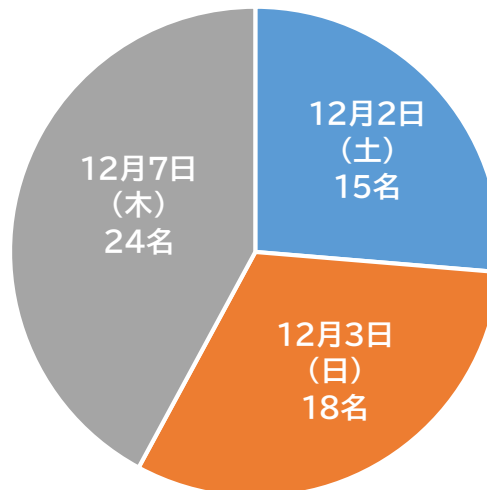
図表 2 参加者の年代



(3)参加日

平日は夜間、土日は昼間の開催であったが、平日の12月7日(木)が24名で最も参加者が多かった。

図表 3 参加日別参加人数



(N=57)

3. アンケート結果

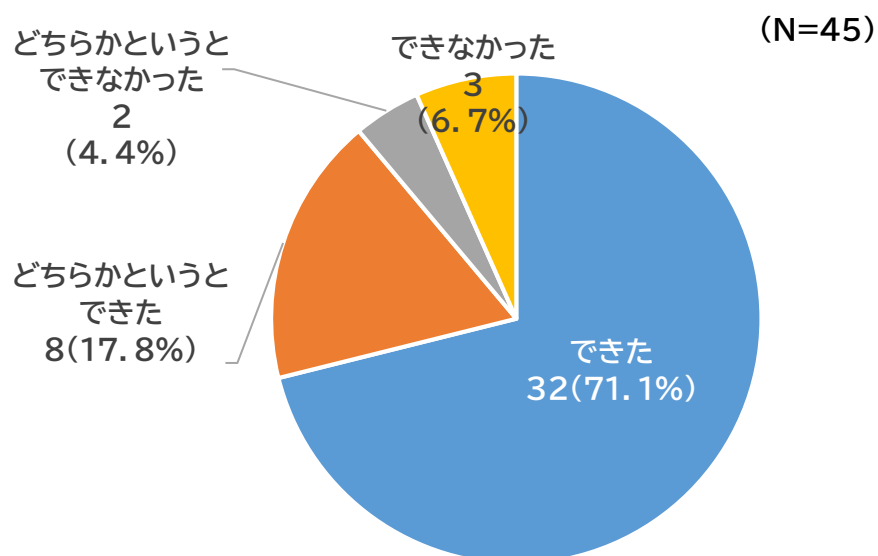
問1. ワークショップに参加されることへ価値を感じることができましたか。

a. 情報収集ができましたか。

「できた」が最も多く、次いで「どちらかというとできた」が続いた。「できた」と「どちらかというとできた」を合わせると、88.9%の参加者がワークショップに参加して、情報収集ができたと回答した。

	回答者数【N=45】
できた	32
どちらかというとできた	8
どちらかというとできなかった	2
できなかった	3
未回答	0
合計	45

図表 4 情報収集ができたか

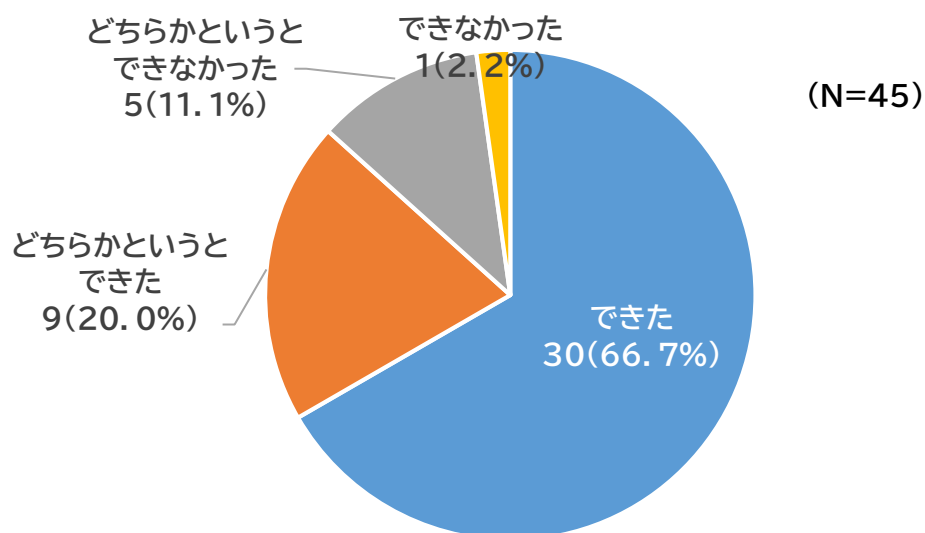


b.市民同士や市職員との対話ことができましたか。

「できた」が最も多く、次いで「どちらかというとできた」が続いた。「できた」と「どちらかというとできた」を合わせると、86.7%の参加者がワークショップに参加して、市民同士や市職員の対話ができたと回答した。

	回答者数【N=45】
できた	30
どちらかというとできた	9
どちらかというとできなかった	5
できなかった	1
未回答	0
合計	45

図表 5 市民同士や市職員との対話ができただか

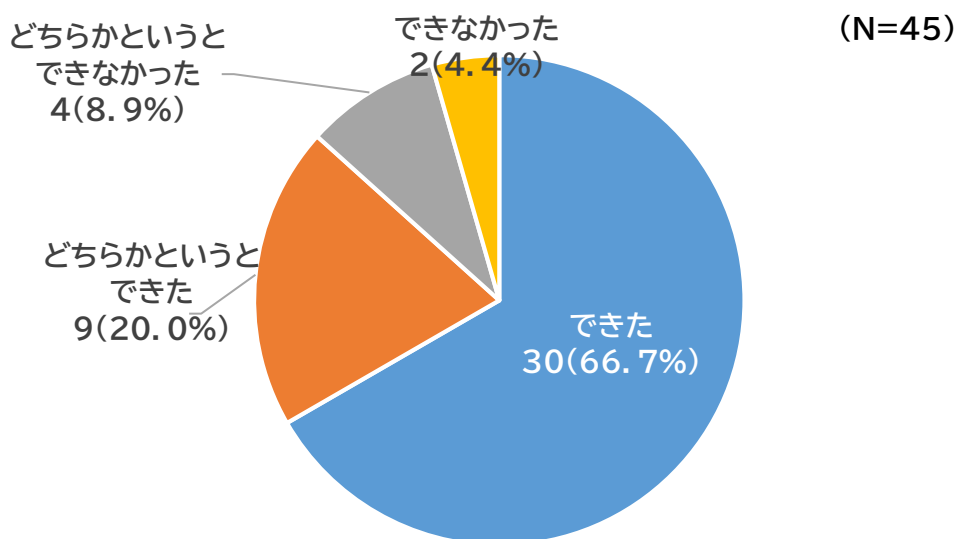


c.新庁舎事業に関わることができましたか。

「できた」が最も多く、次いで「どちらかというとできた」が続いた。「できた」と「どちらかというとできた」を合わせると、86.7%の参加者がワークショップに参加して、新庁舎事業に関わることができたと回答した。

	回答者数【N=45】
できた	30
どちらかというとできた	9
どちらかというとできなかった	4
できなかった	2
未回答	0
合計	45

図表 6 新庁舎事業に関わることができたか

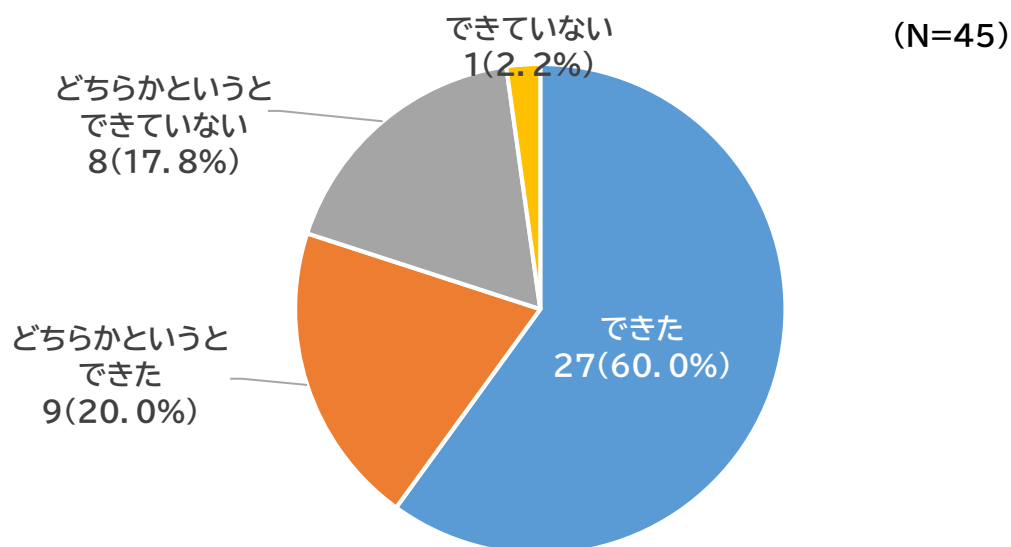


問2. ワークショップへ参加して、納得のいく候補地案への評価をすることができましたか。

「できた」が最も多く、次いで「どちらかというとできた」が続いた。「できた」と「どちらかというとできた」を合わせると、80.0%の参加者がワークショップに参加して、納得のいく候補地案への評価ができたと回答した。

	回答者数【N=45】
できた	27
どちらかというとできた	9
どちらかというとできていない	8
できていない	1
未回答	0
合計	45

図表 7 ワークショップへ参加して、納得のいく候補地案への評価をすることができたか



問3. 本日のワークショップに参加され、新庁舎の機能・複数候補地案に必要であると思ったことがあれば教えてください。(自由記入)

新庁舎の機能については、コンパクト化に関する意見が多く出された。複数候補地案については、各候補地での庁舎建築の在り方や、建設にあたり具体的に考慮すべき点が出された。また、整備を進めるにあたり、ワークショップ出席者に限らない多くの市民の意見を聞くことを求める意見が出された。

【土地の確保】

- ・緊急の場合のヘリ等の発着地としても広い敷地の確保が望まれる。過去に新成人が空から視察できたという、うらやましい事もあり、広さが望まれる。
- ・市有地である。土地の確保が有利。
- ・土地の確保
- ・1 一箇所で事が済む庁舎が望ましい。2 職員、公用車、来庁者の駐車場が敷地内にある事。3 借地でない事。4 余裕の有る敷地の確保。

【防災】

- ・自分の考えは、コンパクトで災害に強い庁舎です。市民アンケートでは経費面も合わせて聞いてください。
- ・防災拠点となると利便性、発展性が指針になると思います。
- ・50年・100年を見とおす。高台が良いと思う。

【コンパクト】

- ・現在の連絡所の充実を計りコンパクトに。
- ・議場、対面相談窓口、防災指揮所及び避難所は必須とし、事務及びバックオフィス機能はDX化し分散処理する事で市庁舎に来なくてもリモートサービスを受けられる様になり必然的に箱はミニマムになる。

建築は森との共生、里山の役場らしく県内木材を多用した低層の建物を個別に作る事でフレキシブルに増殖出来るようにする。

象徴としての大箱では無く、機能を環境に融和させ、かつ持続的に維持(屋根上ソーラー、電動バス、グリーンカーテン、ビオトープ、里山ガーデンなど)出来る市庁舎を期待。

- ・大きな建物は要らないと感じました。必要だと思ったことは、地域の連絡所、学校・図書館などの一角を小さな分庁舎とすることです。

【複合用途】

- ・交流スペース、職員さんの働きやすさを重視してカフェまたは勉強スペースが機能として必要だと感じた！

【将来性】

- ・庁舎は長い時代(時間)と共に変化する建物で無くては成らないと考えました。

【市のシンボル】

- ・市のシンボルとしての役割も考慮すると良い。

【候補地案】

- ・前回市長選で美濃太田駅はダメと判断されています。美濃加茂市の今後の発展を考えれば美濃太田駅北側が良いと思います。
- ・既存の価値観ではなく、新たな新天地として、三和、伊深を候補に入れる視点も大切だと思いました。
- ・自然との調和のある庁舎が必要だと感じた。大きな箱物でなくても、1・2階建ての建物がその敷地内にいくつかある方が良いと感じた。
- ・自然との調和、里山に庁舎があると良い理由
 - …純粋にワクワクする。
 - …ただ無機質な箱物をつくるよりも、自然と調和して思いのある庁舎を作る方が今後の歴史を繋いで、新たに歴史を作っていく為にも良いと思うし、市民としても庁舎を守るのに貢献したいと思える。
 - …市役所で働く方がより生き生き働ける。

【懸念点】

- ・グラウンドを潰すのはやめて下さい。スポ少野球で練習、試合に使います。小学生が自転車でも通える地域の大切なグラウンドです。その他に、園庭の狭い保育園、幼稚園が運動会をしたり、近くの高校が部活に使用しています。災害時には避難所になります。なので、グラウンドは残して下さい。
 - 畜産試験場になる場合、豚の慰霊碑を小さくてもいいので、建てて下さい。
 - 前平公園辺りが、工場の車が多くて子どもの事故があると、おっしゃっていた方がみえました。大切な子どもの命です。早急に対策して下さい。もし新庁舎を建てる場合にも、周辺の道路編成もしっかりやって下さい。
 - 大手町公園周辺に行く道に鉄道下を通るアンダーパスがあり、大雨の時は通行止めになるので、よくないのでは。

【他市事例】

- ・参加するにあたって、北方町、各務原市の庁舎と可児市の mano を見学して来ました。北方町はコンパクトで親しみやすい遊び心のある自然を感じられる素敵な庁舎でした。
 - 各務原市は街中でデジタル案内や飛行機のマークを色んな所に散りばめて、まさに各務原だなと感じました。各窓口ブースの案内板は大きな文字や色でお

年寄りにも分かりやすい案内でした。隣接してまちづくり課があって色々な催し物が出来るスペースがあり、市民もまちづくりに参加出来そうな感じでした。

可児市の駅前に隣接された mano はこども課等が入った施設ですが、ゆったりしていて贅沢な気持ちにさせてくれました。学生の勉強スペースもあり、駅を利用する学生の待ち時間等には最高だと思いました。そこで駅北の大手町公園は庁舎には少し狭いので、可児市の mano の様な施設を建てると、子育て支援に取り組んでいる美濃加茂市を強くアピールできるのでは無いかと感じました。子供だけでなく皆が集えるスペースも取れそうです。庁舎は別の場所にしっかりと事務ができる様、区別するのも良いかなと、感じました。

【市職員】

- ・市職員の充実を図って下さい。
- ・市職員の主体性。

【まちづくり】

- ・日本人、美濃加茂市民としてどのようなまちづくりをしていくか、をみなさんで考えていきたい。

【費用】

- ・具体的な費用
- ・財政面の資料があると考えの視点がもっと広がったと思う。商業施設(前回の案)の案との比較が話題となったか。

【整備の進め方】

- ・第3回、第2回ワークショップで民主的に市民の声を聞き良くまとめられている。その内容はブレがなく市職員の意識改革も重要であることが提起されたことが大切だと考える。よくぞ2回目のワークで取りまとめていただいたことに敬意も表します。より良き「みのかも」未来(将来)の活力を市民に訴えていくには大切なことです。
- ・新庁舎が皆さん(市民の皆さん)の大切なものです。力を合わせて良いものになりたいです。
- ・夢を語れる代表が必要
- ・ワークショップの意見を生かして下さい。市議の方も参考にしてください。
- ・住んでいる人の意見が重要と思います。
- ・最初は自分の意見を話すことが出来ないかと思いましたが、ファシリテーターやグループメンバーのおかげで意見がスムーズにでたと思います。
- ・全ての候補地に必ず課題があるので、その解決を含めて検討して下さい。

- ・ワークショップに参加される多くの方の意見を聞いたり、今後実施されると思われるアンケート結果を重視する事が必要であると思いました。基金はどの程度あてられるのか、市債は確保されるのか、確保されるとしたら金額は県国からの助成金を出来る限り補助が受けられるようにして下さい。
- ・もう少したくさんの方の意見が必要であると感じた。参加者が限られているような気がする。ワークショップ以外の方法を考えてはどうか。
- ・機能(外観や景観を含む)と候補地は、とても分けては考えられないと思いました。テーマがだんだん具体的になってきて、参加者の意見も説得力が増してきた様に思います。参加者が、第1回開催以前から思っていた事が、やっと他の人に伝えられるという感じでしょうか？それぞれが推す、それぞれの候補地も理由を聞くと一定の納得をします。特化した機能を持つ庁舎建設を目指す場合はこの候補地以外は考えづらい、またはこの候補地に建設する庁舎にはこの様な機能を重視する、といった様に機能と候補地には密接に関連していると思います。市民にアンケートとして問う場合は、こういう機能を備えた庁舎をここに作る、この場所にこういった外観の庁舎を作るという様に、機能と候補地を合わせて質問してはどうでしょうか？

【情報提供】

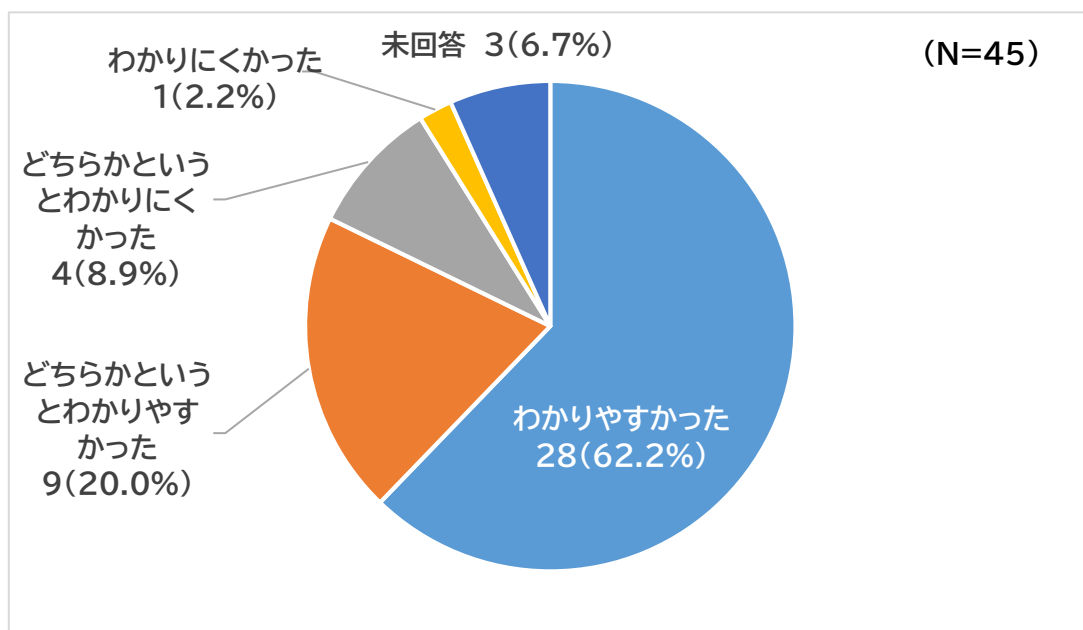
- ・参考資料がたくさんあって良かったです。それを礎に考えることができました。今日、参加した者だけでなく幅広く知らせていくことが大切だと思います。

問4. 本日のワークショップの説明・進行について

「わかりやすかった」が最も多く、次いで「どちらかというとわかりやすかった」が続いた。

	回答者数【N=45】
わかりやすかった	28
どちらかというとわかりやすかった	9
どちらかというとわかりにくかった	4
わかりにくかった	1
未回答	3
合計	45

図表 8 ワークショップの説明・進行について



○ワークショップの進め方について、わかりにくい・もっとこうして欲しい等ご意見がありましたら教えてください。(今後の運営で参考とさせていただきます。)(自由記入)

グループワークについて、意見を出しやすくすることや、話し合いに集中できるようにすることを求める意見が出された。第2回市民ワークショップについてのアンケートで市民から課題点として挙げられた、情報提供の長さについての意見は出されなかった。資料については、事前の読み込みのアピールが必要との意見が出された。

【高評価】

- ・3回目に参加してわかりやすくなりました。
- ・1回目より2回目の方がわかりやすくなり、だんだんと市民と市の職員さんのコミュニケーションをとれてきて嬉しく思いました。
- ・今回のでOK
- ・現段階ではOKだと思います。
- ・特になし(時間的にやむ得ない)
- ・わかりやすくまとめて頂きありがとうございます

【時間配分】

- ・最後に30分くらい話し合う時間がほしい。
- ・候補地案資料2が細かくて読む時間がなかった。郵送の資料に入れて、事前に欲しかった。
- ・他の開催日、他のテーブルの途中経過も気になります。グループ発表が終わって、解散の挨拶の後で、希望する人は他のテーブルの気になる箇所などを質問したり確認したりできる時間が少しあっても良いのではないですか？

【グループ分け】

- ・グループに分かれて少人数なので意見が出し易い。他の方の意見も聞き易い。
- ・なかなか意見が言いにくい。グループで意見がまとまると他の意見は言いにくい。
- ・初めて参加した人と3回目の方との認識の違いに少し違和感がありました。これまで10年後の美濃加茂市について色々話し合ってきたが、一つにまとめるのではなく色々な意見がある中、では場所を選びましょうと言う流れでしたが、初めて参加された方は「何のビジョンも無く場所選びはどうか」と、これまでのワークがなかった様な入り方だったので、初参加者は一つのテーブルにし、新たな意見を発表される方が、ファシリテーターも進行しやすい感じました。熟したチームも新しいチームもお互いの意見に感心すると思いますし、新しい考え方も出しやすいのではないかと感じました。

【進行】

- ・グループのファシリテーターはもう少し議論の方向性でかじってを取ってほしい。候補地案の所は迷走した。

【参加者の年代】

- ・若い人が少ない(いなかった)のが残念(Bグループ)

【市職員】

- ・市の職員は市民へのサービス業として考え、市民から求めているものを聞くことも大切だが、市民に何をしたいかという市の職員としての主体性の元に運営して下さると、より参加したくなると思います。

【その他】

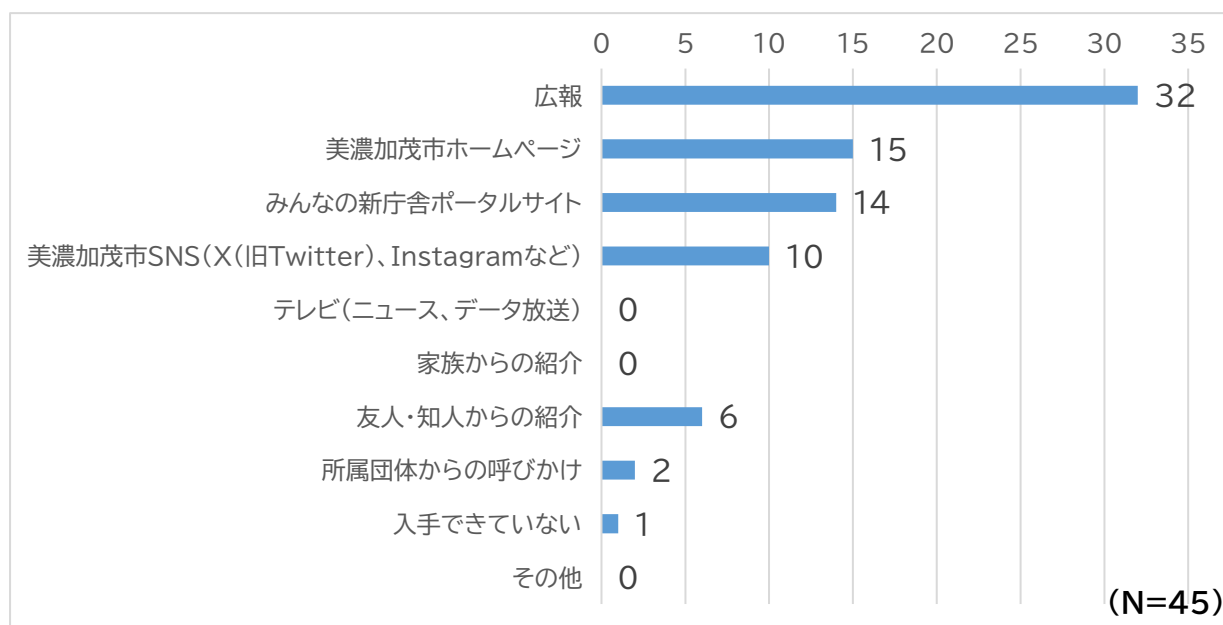
- ・①初参加者もいるので必ず自己紹介をきちんとさせるべき。今回途中で発言を遮られ尋ねられるような事があった。
- ・②未だに駅前の地主の個人名を出して批判する者がメンバーに数名いたが、それにより話の本質がズれる可能性を心配する。
- ・③参加者同士の組み合わせはなるべく重複させない方が適してるかと思う。
- ・④事前の資料を見ていないかのような参加者がいたが、資料送付時にもう少し事前の読み込みをアピールするべきである。
- ・現実的に市民の意見がどこまで届くのか？解りにくかった。
- ・各テーブルのファシリテーターの方は、本当によくやって下さいます。とっても有難いです。ファシリテーターが参加者に意見を求めた時、傍聴の男性の方がその参加者に話しかけて、中断しました。また、別の女性の方が、話し合い中、参加者に名刺を渡して話していました。時間が限られている大切な話し合いを邪魔しないで欲しいです。終わってからやって欲しいです。
- ・水谷先生の笑顔にいつも癒されます。さまざまな市民を優しく受け入れてくださいますお姿が私にとっての大きな学びとなります。

問5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

第2回ワークショップ時同様、「広報」から情報入手するという意見が最も多かった。「美濃加茂市ホームページ」「美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)」が続いた。

	回答者数【N=45】
広報	32
美濃加茂市ホームページ	15
みんなの新庁舎ポータルサイト	14
美濃加茂市 SNS(X(旧 Twitter)、Instagram など)	10
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	6
所属団体からの呼びかけ	2
入手できていない	1
その他	0
合計	80

図表 9 新庁舎整備に関する情報の入手方法について



問6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。(自由記入)

新庁舎の機能については、防災のために必要なものやユニバーサルデザインをはじめ、様々な意見が出された。また、長期目線での候補地の選定や、庁舎完成後も含めた対話の継続を求める意見も出された。また、他市事例を実際に見たうえで書かれた、新庁舎整備に対する意欲がうかがえる意見も出された。

【新庁舎の機能】

- ・美濃加茂市の福祉が向上する事を大前提でサテライトの在り方も含め、機能を検討して下さい。
- ・災害対策本部対策室の設置、危機管理室の配置。
- ・情報・通信設備の設置。
- ・耐震性の確保
- ・市民の安全安心を確保するために広い一時避難スペースの確保(現在の学習センターでは狭い、災害への対応避難経路をはっきりしておく)
- ・非常用電源設備の確保(避雷装置の設置を含む)
- ・飲料水の貯蓄装置の設置
- ・災害発生時に、消防車両等の緊急車両が活動できる敷地内スペースを確保する。
- ・防災システムの活用、被災状況の把握(地域の防災組織や関係機関と連絡を取り、対応できるように通信設備を配置する)
- ・浸水対策
- ・非常食・防災資材の備蓄(大きな防災倉庫)
- ・総合案内の設置(庁舎内に案内表示)できればあらゆる年齢層に対応できるように案内係を置く。
- ・ディスプレイを備えた番号案内の採用(住民票等頻繁に利用される窓口は、法務局等で採用しているような、番号札方式がよいのでは)
- ・個室型相談室の設置(プライバシーに考慮した)
- ・市民生活に係る窓口は1階とする。
- ・ユニバーサルデザインに配慮した庁舎、すべての人が安心して、使いやすい施設の整備。
- ・利用者へ配慮した駐車スペースの確保、専用駐車場から正面玄関入口までの歩道にアーケードを設置する
- ・エレベーターは車いすが回転できる広さとする
- ・廊下は車いすがすれ違える広さを確保する。
- ・多目的トイレの設置
- ・CO2 排出量の低減を図る、環境にやさしい庁舎。(再生エネルギーの活用、自然エネルギーの活用)再生エネルギーの活用について、自然採光・通風の確保、

太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用をして断熱性・気密性の向上を図る。

- ・施設(庁舎)の長寿命化を図る、耐久性の高い材料設備機器
- ・コンパクトシティ
- ・防犯対策、防犯カメラ。緊急通報装置の設置
- ・来庁者・職員の安全管理、セキュリティ対策(入退出の管理)
- ・規模では無く市民ファーストでの機能。内閣府の未来都市認定を受けて SDGs に即し未来に向けて持続性の有る市庁舎を願う。

【設備・構造】

- ・新庁舎に人が集まりやすい事。
- ・コンパクトにしすぎない事。
- ・行きたい必要な部署を分かりやすくしてほしい。
- ・一つの窓口で要件が済ませるようにしてほしい。
- ・通路やトイレのバリアフリー化
- ・市民同士の交流の出来る場所・休憩できる場所を設置する。
- ・十分な駐車場の確保。
- ・ライフサイクルコストを少なくできる場所を選ぶ、コンパクトな庁舎。
- ・市政情報や観光情報の発言一覧コーナー
- ・図書館を同じ敷地内に建設する。でなければ市職員・議員が調査研究できる市・議会図書室の設置。
- ・議員と面接できる応接室の設置。
- ・議場の有効活用、閉会中、傍聴席の整備。

【候補地】

- ・候補地の選定にあたって複数の意見(場所)を出せとの呼びかけは適切ではない。2.3 と無視して提起したが非常に不満。ワークショップの市民の意見に応えられ、建設土地代金もいらず一番安く市民の大方の意見を叶えられ建築できる土地は前平区である。それ以外の土地は考えられない(複数候補地を挙げて議論するといろいろ困難をきたす。)
- ・改めて駅南が無かったのは残念。
- ・市有地が無くても今後のまちづくりが大切である。用地は建設費の1/10程度であると思います。新しい候補地をのぞみます。
- ・数年前に作成いただいた、候補地別の 60 年間のライフサイクルコスト(経済性)の見直しをしていただきたい。A 実現性(土地、建物(新庁舎)、その他)B 発展性(将来の街づくり)C 経済性(60 年間のライフサイクルコスト(初期整備費用+維持管理費))
- ・安全性及び災害対策機能が確保できる場所(浸水被害の低い場所)
- ・十分な駐車場が一か所で確保でき、交通渋滞が起きない場所

・来庁者の必要な手続きがワンストップで行うことができる場所、①一緒にあるとよい施設、市民が使える会議室交流施設 ②レストラン、カフェ③銀行、ATM ④図書館又は図書コーナー⑤多目的スペース(ギャラリー物産展ミニコンサート) 第3回ワークショップで頂いた、候補地資料①②③は細かく調査され、詳しく作成されていて大変役に立ちました。ありがとうございました。

・畜産試験場跡地には、農業系の大学を持ってきたら、大学生とか若い人が通って来てくれたら町が元気になりそう。

・さて、先日、各務原市役所、北方町役場、岐阜県庁(前を通っただけ)、多治見駅北分庁舎に見学しに行きました。その私の実感からの候補地を選んでみました。ご報告いたします。結論→12

根拠①大きな庁舎は要らない、なぜなら・中に入るのに緊張する。・広いフロアにたくさんの職員さんがいて、カウンターに座ると、皆さんがこちらを見ているような感覚になり緊張する。

根拠②自然豊かな場所で自然に溶け込む庁舎にすればリラックスできる、なぜなら・北方町役場は三階建てで一番自然素材が使われていて市民に寄り添ってくださっていることを感じた。さすが!“まちの住み心地ランキング”岐阜県 No.1 の町役場と感じた(でもフロアは広すぎる)・近くに米田白山、さくらの森があり散策ついでに市役所に寄られる・市街地から遠いのが実はメリットで市民の健康向上に繋がる。市内各地に小さな分庁舎があれば遠くても問題はない・自然を大切に作る庁舎の姿は市民へのメッセージとなり、市民自身の自己承認感アップに繋がる。

根拠③土砂災害警戒区域ではあるが小さな分庁舎が機能していれば、庁舎が崩れたとしても市民は自分たちで何とかする力、自治力が備わっているから大丈夫、なぜなら小さな分庁舎の機能アップのためには、地域のみなさんとの対話が必要であり、対話を重ねるうちに馴染みの関係が生まれ、それが地域愛となるから。

【将来性】

- ・市民に選択した理由を経済性ばかりでなく、長期的視点も含めて説明されたい。
- ・まずは広い土地を探すこと。50年先100年先のことを考えて災害のない土地を選ぶこと。
- ・未来を見越した新庁舎を望みます。

【地域活性化】

- ・新たな新天地で人の流れが出来、美濃加茂市が発展してゆく方向を目指してほしいです。
- ・建設時の時代をあらわし、日本の歴史・文化に沿った施設であって欲しいです。最先端であり、日本の美しさを考えていきたい。

- ・新庁舎は美濃加茂市のシンボルであって欲しい。緑に囲まれた所も大切にして欲しい。若い人達が自慢できるデザインにもして欲しい。住みやすい美濃加茂をアピール出来る庁舎であって欲しい。

【防災】

- ・災害に強い新庁舎にしてほしい

【市職員の働きやすさ】

- ・職員が市民のことを考えながら仕事に専念できるような環境作りの観点をもっと少し持って頂きたい。やはり一番市役所を使うのは職員さんだと思います。職員さんの目線が市民の目線となるように、組織内で階級もクロスしながら、コミュニケーションをとってはどうか？？頑張ってください。応援しております。

【他市事例】

- ・美濃加茂市ラインに市長からのメッセージで、こんな機能があるよとか参考になるものを持って来て～何とかと言うのを拝見して、実際に他の庁舎を見学に行きました。北方町役場は隣に防災公園があり、かまどベンチがありました。各務原市役所は近くに元々広い公園があります。新しい庁舎でもあり、経済性環境配慮、ユニバーサルデザイン、機能的効率的に考えられていました。岐阜県庁舎にも、芝生の広場があったのには驚きました。柱が建ててあり、有事の際には何かに使われると思われま。他の庁舎を拝見して、美濃加茂市の庁舎がどうなるかますます楽しみになりました。これからも市民との対話を継続的に実施と、ロードマップに記載してありますので、実施をよろしく願います。

【整備の進め方】

- ・早く建ててほしい(生きているうちに見たい！)
- ・多数意見に引きずられず、よく検討してください。(市長の一般意志?)連絡所の活用の意見もありました。周辺部の地区はそちらが大事かもしれません。
- ・土地・建物でしか対応できないこと、導入する設備で対応できること。ハード対策とソフト対策といった層別化もして下さい。
- ・一部の人だけの意見が集約されていく不安がある。
- ・私も含めて市民は勝手な事を言うが、実際には年に一度庁舎に行くくらいかと思う。だから市役所で働く人の意見をもっと聞いてみたい。実際に働くその方々が生き生きした場所になれば、よりパフォーマンスがあがると思う。庁舎整備が完了した後も、1年毎にワークショップを行い、良い庁舎(市政)を作るには?のワークショップを開催していく事が大事だと思った。一市民としては、前市長の時に一度決まった新庁舎の案が廃案になって良かったと思います。長丁場でかなり大変な取組だと思いますが、頑張ってください。私の思い

通りの場所や建物にならなくてもいいです。作った後に、この場所にして良かった、この建物にして良かったと思えるように建てた後の行動がより大事だと思います。私も少しでも貢献できるように頑張ります。

- ・東中学校や加茂高校でワークショップを開催したとありました。現在の中学生や高校生の意見にとっても興味がありますどこかの機会で紹介してもらえませんか？毎回このアンケートには時間をかけて力を込めて書いていますが、読んでいただけていますか？資料を残すために、手書きだとパソコン入力の際に一度は目を通すと思いますが、メール送信だとコピーするだけなので。

【ワークショップ】

- ・楽しくワークショップが出来て大変良かったと思いました。職員さんも親切に教えて頂きありがとうございました。
- ・皆さんとても熱心に意見を出されて、あらためて美濃加茂市ってすごい！と思いました。こうしたワークショップを開いて下さり職員さん方には本当に頭が下がります。本当に疲れさまでした。
- ・多くの市民の方に参加していただけるワークショップの設置をしていただきたい。

【その他】

- ・人口密度の中心も大切ですが、地理的に美濃加茂市の中心的場所に建設して欲しい。建設費も重要だが維持管理費、修繕費の事も考えて建設して欲しい。例えば、平屋造りとか。
- ・現庁舎の跡地でも、立体駐車場であれば災害のヘリポートになる。お祭りの駐車場に使える。身体障がい者や高齢者の見学場所にできる。
- ・現庁舎のままがいい。生涯学習センターがあるので、市役所関連の会議や集合に使える。
- ・現庁舎が空地になった場合数年間、現庁舎周辺は衰退するのでは 美濃加茂市は無駄に広い土地をかかえ込み、岐阜県に貸していた土地が返却されたらレンタル料が無くなりむしろマイナスになるのでは？
- ・日頃から何かとお世話になりましてありがとうございます。当日の資料についても、あれだけ丁寧な資料を作成するに、どれほどの時間をかけられたのかと、思い感謝の気持ちでいっぱいです。愛があれば大丈夫。I LOVE ME、I LOVE YOU、I LOVE MINOKAMO、I LOVE 地球。
- ・他市の事例を見学をして感じたことは、新庁舎、建てて終わりじゃないんだな、みんなで育み合っていくものなんだなということです。何年経っても古さが味わいになるような、みんなで可愛いがれる可愛い庁舎になることを私は夢描いています。